

「マツダ CX-8」、JNCAP ファイブスター賞を平成 29 年度最高得点で受賞 — 予防安全性能に加え、衝突安全性能でも JNCAP 最高評価を獲得 —

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、「マツダ CX-8」が、平成29年度のJNCAP*1自動車アセスメントにおいて、「衝突安全性能評価ファイブスター賞」を受験車中、最高得点*2で受賞したと発表しました。

「CX-8」は、同年度のJNCAP予防安全性能評価でも満点で最高ランク「ASV++」を獲得しており、事故リスク低減から衝突被害軽減まで、全領域における安全性能の高さが証明されました。

なお、同自動車アセスメントでは、試験を受けたマツダのすべての新世代商品*3がファイブスター賞を受賞しており、「CX-8」のみならず、マツダ新世代商品群が高い衝突安全性能を有することが証明されました。



「衝突安全性能評価ファイブスター賞」



「マツダ CX-8」

JNCAP 自動車アセスメントにおける衝突安全性能評価では、衝突時の乗員保護や歩行者保護などの性能について5段階評価を行い、その結果を1☆から5☆までの表示によって公表しています。

「CX-8」は、前方・側方・後方からの衝撃エネルギーを効率的に吸収・分散してキャビンの変形を抑制する軽量・高強度・安全ボディの「SKYACTIV-BODY」を採用し、基本骨格のストレート化、マルチロードパス構造、各部骨格の環状構造を基本とすることで、衝突安全性能を高めています。また、歩行者との衝突を検知した瞬間にボンネット後端を持ち上げて、歩行者への衝撃を緩和する「アクティブボンネット」を「CX-8」全車で標準装備しています。これに加えて、マツダの安全思想「MAZDA PROACTIVE SAFETY(マツダ・プロアクティブ・セーフティ)」*4にもとづいた予防安全技術にも注力し、あらゆる領域で最高の安全性能を追求しています。

マツダは、技術開発の長期ビジョン「サステイナブル“Zoom-Zoom”宣言 2030」にもとづき、美しい「地球」と心豊かな「人」・「社会」を実現し、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

*1 JNCAP(Japan New Car Assessment Program)は、国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)が、安全な自動車の普及を促進する目的で、平成7年度より公表している自動車の安全性能評価。現在市販されている自動車の安全性能について衝突安全性能および予防安全性能の評価結果を公表しています。

*2 総合評価208点満点中、193.9点。

*3 JNCAP自動車アセスメント試験を実施したすべての新世代商品とは、2012年以降に日本国内で発売されたマツダ車のうち、「マツダ デミオ」、「マツダ アクセラ」、「マツダ アテンザ」、「マツダ CX-3」、「マツダ CX-5」、「マツダ CX-8」を指します。

*4 「MAZDA PROACTIVE SAFETY」は人間を理解・信頼・尊重することを重視した中で、ドライバーが安全に運転できる状態を最大限に確保し、事故のリスクを最小限に抑制することを目指すマツダ独自の安全思想。

<参考>

■独立行政法人 自動車事故対策機構(NASVA)ホームページ：
<http://www.nasva.go.jp/mamoru/>